



- TOP 学籍情報照会 学生プロフィール (EUC) 学生時間割表 学生出欠状況確認 (EUC) 成績照会 (EUC) 就職活動報告 学修ポートフォリオ 学生カルテ 教職履修カルテ

履修カルテ登録

教職履修カルテ [Rka006]

PDF Excel



学籍番号:

氏名:

検索 Advanced検索



ゼミ担当教員名: ●● ●●

基本情報 自己評価

目標設定

| 対象年度 | 学修や卒業後の目標 |
|---------|----------------------|
| ●●年度 | <input type="text"/> |
| ●●年度 | <input type="text"/> |
| ●●年度 | <input type="text"/> |
| ●●年度 | <input type="text"/> |
| 教育実習終了時 | <input type="text"/> |

出身中学校

出身中学校名称

出身中学校所在地

出身高校

出身高校名称

出身高校所在地



取得希望資格 選択

| 資格 | |
|--------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | 中学校教諭一種免許状 (数学) |
| <input type="checkbox"/> | 高等学校教諭一種免許状 (数学) |
| <input type="checkbox"/> | 高等学校教諭一種免許状 (情報) |
| <input type="checkbox"/> | 他種類他教科免許 |

進路希望調査

進路支援を充実させるために、今現在考えている卒業・修了後の希望進路を選択してください。
 この調査に関するお問い合わせは就職課までお願いします。
 なお、学部3年生および修士1年生はこれを進路希望登録とします。進路希望登録は、就職・進学に
 関わらず、職業安定法第33条の2で定められています。

企業就職 進学 公務員 教員 現職継続 その他 未定

※自宅電話番号、携帯電話番号を変更した場合は、必ず「CLASS」の変更処理を行ってください。

採用試験受験状況

行追加

| 採用試験受験状況 |
|----------|
| |

就職活動

| 活動年度 | 登録日 | 区分 | 企業名/進学先 | 活動状況 | 登録者 | 最終更新日時 | 報告 | 活動記録 |
|--|-----|----|---------|------|-----|--------|----|------|
| 0件 (1/1) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 10 | | | | | | | | |

資格関連科目 修得状況

※上段：学修の振り返り/下段：担当教員評価コメント

| 科目 | 単位数 | 修得年度学期 | 担当教員 | 評価 | 学修の振り返り/担当教員評価コメント |
|------|-----|--------|-------|----|----------------------|
| ●●●● | x.x | ●●年度前期 | ●● ●● | ● | <input type="text"/> |
| ●●●● | x.x | ●●年度後期 | ●● ●● | ● | <input type="text"/> |

旧学籍番号 資格関連科目 修得状況

| 科目 | 単位数 | 修得年度学期 | 担当教員 | 評価 | 学修の振り返り |
|----|-----|--------|------|----|---------|
| | | | | | |

学外活動に関する記録

この項目には、教育実習・介護等体験に関する記録を記載してください。

【教育実習の場合】

- ①実習校名 (●●県立●●高等学校)
 ②所在地 (〒●●●-●●●●●●●●●●●●市●●●-●●)
 ③校種 (中学校/中等教育学校/中高一貫校/高等学校)
 ④実習教科 (以下のいずれかの科目名)
 中学：数学/理科
 高校：数学/理科 (物理) /理科 (化学) /理科 (生物) /情報

【介護等体験の場合】

特別支援学校体験先 (●●●特別支援学校) / 社会福祉施設体験先 (●●●社会福祉館)

【その他】

理科教室、塾講師、家庭教師、学校ボランティア、子ども会、地域等のスポーツ指導など、教職に関係するボランティア活動または子どもに関わる活動があれば記載してください。

| 活動期間 | 活動内容/総括 |
|------|---------|
| | |

コメント

| | |
|--------|--|
| 登録者 | <input type="text"/> |
| コメント | <input type="text"/> |
| 添付ファイル | <input type="button" value="ファイルを添付"/> |



- TOP 学籍情報照会 学生プロフィール 学生時間割表 学生出欠状況確認 (EUC) 成績照会 (EUC) 就職活動報告 学修ポートフォリオ 学生カルテ 教職履修カルテ

履修別カルテ登録

教職履修カルテ [Rka006]

PDF Excel

学籍番号:

氏名:

検索 Advanced検索



ゼミ担当教員名: ●●●●

基本情報 自己評価

必要な資質能力についての自己評価

| 評価分類 | 評価項目 | 指標 | 1: 全くそう思わない 2: そう思わない 3: どちらともいえない 4: そう思う 5: 強くそう思う | | | | |
|------|----------------------------------|---|--|------|------|------|---------|
| | | | ●●年度 | ●●年度 | ●●年度 | ●●年度 | 教育実習終了時 |
| I | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 教師の服務事項（職務上・身分上の義務）について理解していますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 人権を尊重しながら子どもとかわることが出来ますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 生徒のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報など、職務上知り得た秘密を守ることが出来ますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 子どもに対する愛情と教育に対する熱意や使命感をもっていますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 困難な状況に対しても問題の解決に向けて粘り強く取り組むことが出来ますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 自分が目指す教師像に接近するための努力をし、絶えず自らの教育観を磨き続けていますか。 | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 子どもの安全管理に関する基礎的知識をもっていますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 健康的な生活習慣にむけて、体調管理を心掛けることが出来ますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 新聞やニュース等をよく読み、社会の動きに関心を持っていますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 教育学や心理学の知識や理論に関心をもち、活用することが出来ますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 学校教育に関する法令等（憲法、教育基本法、学校教育法等）を学び、その基礎的な内容を理解していますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 文部科学省の施策等から現代の教育課題を把握しようと努めていますか | | | | | |
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | いじめ、不登校、特別支援教育など、現代の教育課題に関心をもち、自分なりの意見をもっていますか。 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| | I.教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 自らのストレスを発散するための自分なりの方法を身につけていますか | | | | | |
| II | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 自らすすんで、あいさつができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 服装やみだしなみなどのエチケットにも心を配ることができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 他人から見た自分の表情を意識して、生徒に対する表情を工夫できますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 適切な言葉遣いで話すことができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 書類の提出期限や約束の時間を確実に守るなど、社会人にふさわしい行動をとることができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 中学生・高校生の発達段階を考慮し、相手の人格を尊重したコミュニケーションがとれますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 自分の担当する生徒に声をかけたり、相談にのったり、親しみを持った態度で接することができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 自分の思いや考えを相手に的確に伝えることができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | クラス全体の生徒に対して後ろに座る生徒にもきちんと聞こえるように声の大きさや話す速さをコントロールできますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 人の話を聴く時には相手が話しやすい態度で接し、その思いや考えを相手の立場に立って受けとめることができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 他者からの評価やフィードバックを自己の成長に活用することができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 集団の中で他者と協力して課題に取り組むことができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか | | | | | |
| | II.教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項 | 組織の中で仕事をするにあたって「報告・連絡・相談」が大切であることを理解していますか | | | | | |
| III | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 生徒を観察したり、生徒の意見をよく聴いて、ありのままの姿を肯定的に受けとめることができますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 中学生・高校生の発達の段階や課題について理解していますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 教室掲示や座席配置を工夫し、生徒が学習しやすい教室環境を整えることができますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 教育相談に関する知識を有し、基本的な技法を身につけていますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | いじめ、不登校などについて、個々の生徒の特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | キャリア教育の意義を理解し、その指導に必要な基本的知識・方法を身につけていますか | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--------------------------------|---|--|--|--|--|--|
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 学校における道徳教育、特別活動及び総合的な学習の時間の目標と内容を理解し、その具体的な指導方法を身につけていますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 特別支援教育に関する基礎的知識を有し、特別な教育的ニーズのある生徒に対する基本的な支援の方法を知っていますか | | | | | |
| | III.教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項 | 共生社会の形成に向けて、障害のある生徒など多様な生徒が共に学ぶ意味を理解していますか | | | | | |
| IV | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 担当教科の教科書の内容を十分に理解していますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 学習指導要領およびその解説を精読し、担当教科等の目標・内容等を十分に理解していますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 担当教科等を学ぶ意義や、その楽しさ・面白さを、自分の言葉で生徒に語るすることができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 常に新しい知識や情報を積極的に取り入れ、生涯を通じて学び続ける態度を身につけていますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 主な学習指導方法のメリットとデメリットを理解したうえで学習場面に応じて適切な方法を選択することができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 生徒一人一人が学習内容に興味、関心をもつことができるように授業内容を工夫することができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 学習指導案の内容と作成の手順を理解し、創意工夫しながらよりよいものに作り変えていくことができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 各教科の年間指導計画の内容を理解し、自らの単元計画や本時案に反映させることができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 生徒のつまずきや誤答を事前に予測し、指導に活かすことができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 生徒が主体的に授業に参加するような発問をすることができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 正しい書き順で、読みやすい丁寧な文字を書くことができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 板書の基本的な技術を身につけていますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | I C T機器などの教授メディアを適切に活用し、創造的な授業を行うことができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | わかりやすく読みやすい教材、資料、学習指導案等を作成することができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | プレゼンテーションソフトや写真、動画等を活用した、適切な情報資料を作成することができますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 子どもの学習に対する主な評価の方法を理解していますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 「主体的・対話的で深い学び」を促すファシリテーション能力を身につけていますか | | | | | |
| | IV.教員として求められる教科の指導力に関する事項 | 授業力の向上のために、自己の課題を認識し、その解決に向けて学び続ける姿勢をもっていますか | | | | | |

| 対象年度 | 教職を目指す上での課題・対策 |
|---------|----------------|
| ●●年度 | |
| ●●年度 | |
| ●●年度 | |
| ●●年度 | |
| 教育実習終了時 | |

○ 確定

コメント

| | |
|--------|--|
| 登録者 | <input type="text"/> |
| コメント | <input type="text"/> |
| 添付ファイル | <input type="button" value="ファイルを添付"/> |

○ 登録

教職履修カルテ

1. はじめに：教職履修カルテについて

(1) 「教職実践演習（中・高）」と教職履修カルテ

教職履修カルテは教職課程の集大成である「教職実践演習（中・高）」に向けて利用するものです。[→詳細](#)

(2) 教職を目指す上での、“じぶん記録”

教職課程の履修履歴を確認しながら、「振り返り」と「自己評価」を積み重ねましょう[→詳細](#)

2. 教職履修カルテの作成（教師を目指しての自己成長）

(1) システムの使い方

- ① [ログイン](#) --- 教職履修カルテは CLASS からログインしてください。
- ② [更新方法](#) --- 更新時は、必ずページ最下部の「確定」をクリックしましょう。

(2) 登録内容

- ① [基本情報](#) --- 教職課程において必要な自分の基本情報を管理します。
- ② [目標設定](#) --- 《年度頭》今年度の目標を設定します。
- ③ [資格関連科目履修状況](#) --- 《学期末・年度末》各科目に対する振り返りを登録します。
- ④ [自己評価](#) --- 《年度末》教職に求められる指標に基づいた年度ごとの評価を登録します。
- ⑤ [教職を目指す上での課題・対策（振り返り）](#) --- 《年度末・教職実習終了後》感じた事や考えを振り返ります。
- ⑥ [項目一覧](#) --- 教職履修カルテのすべての項目を一覧化しています。

3. 教職履修カルテに関する質問

- ・[問合せ先](#)

1. はじめに：教職履修カルテについて

(1) 教職実践演習と教職履修カルテ

教職実践演習は「学びの軌跡の集大成」

「教育職員免許法施行規則」の一部改正に伴い、平成 22 年度以降の新入生から教職課程の「教職に関する科目」として「教職実践演習（中・高）」が必修化されました。この科目は、履修時期が原則として 4 年次後期となっており、教員として必要な知識技能を修得したことを最終的に確認する科目として位置づけられています。すなわち「教職実践演習（中・高）」は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、大学が求める教員像や到達目標に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置づけられるものです。

「教職実践演習（中・高）」では、大学 4 年間で学んだ知識や理論と、教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力等の実践知との更なる有機的統合を図り、教職への確かな自覚を培い、教員としての資質能力の構築とその確認を行います。授業の方法は演習を中心とし、発表、ロールプレイ、グループ討議等を組み合わせ、実際の教育現場を想定した教育課題を取り扱います。

「教員として求められる 4 つの事項」が身につけているかの確認

「教職実践演習（中・高）」には教員として求められる以下 4 つの事項を含めることが適当であるとされておりこの授業でこの 4 つの事項に関わる資質能力が身につけているかを確認することになります。

- ① 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
- ② 社会性や対人関係能力に関する事項
- ③ 生徒理解や学級経営等に関する事項
- ④ 教科の指導力に関する事項

「教職実践演習（中・高）」では、学生のこれまでの教職課程の履修履歴を把握し、それを踏まえた指導を行うことにより、不足している知識や技能等を補うことが必要となります。その前提として、具体的には、学生のこれまでの教職課程の履修履歴を把握するために「教職履修カルテ」の作成が義務づけられました。

教職履修カルテは、教職課程を履修する学生が、授業や課外活動などの面において、どのように学び成長してきたのかを記録することで、学生それぞれの優れている点や不足している点などを把握し、4 年次に開講される「教職実践演習（中・高）」で活用するために導入されたものです。また、教職課程を履修する学生の学びの軌跡を把握するということは、教師をめざしての自己成長を支援できるように教職課程全体を改革していくことにもつながります。すなわち、大学の教員は、学生の成長や資質能力の形成という視点から自分が担当する授業科目を見つめ直し、授業計画を策定していく

ことになります。また、教職履修カルテをチェックした教員は、必要に応じてアドバイスや、苦手分野の補完的指導をするなど、学生の成長を支援していくことになります。

(2) 教職を目指す上での、“じぶん記録”

**“教員を目指す学生の成長支援ツール”であり、
教職生活を円滑にスタートするための“じぶん記録”**

教職履修カルテは、大学側が学生それぞれの状況を把握し授業や個別指導に活用することのみを目的としたものではありません。

学生自身が自らの学修等を振り返り、自分自身を成長させていくためのツールとして積極的に活用していくことが必要なのです。大学生の皆さんは、もう自分で自分を教育できる年齢となっています。教職履修カルテの作成や、「教職実践演習（中・高）」の履修を通して、**将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活を円滑にスタートできるようになることが期待されています。**

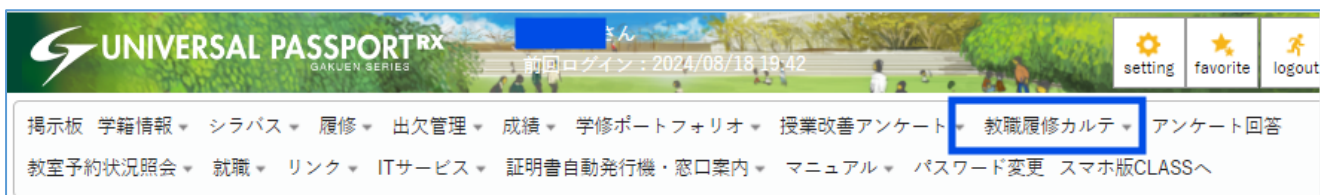
教職履修カルテは、「基本情報」、「資格関連科目履修状況」、「自己評価」、および「振り返り」の4つの項目から構成されています。つまり、**教職を目指す上での、“じぶん記録”**の蓄積場所です。専門科目と教職課程を両立していく中で、教師を目指すための自己成長の形成も同時に必要になってきます。以下では、教職履修カルテ機能の説明とともに、それぞれの項目をどのように自己成長へとつなげていけばよいか、その視点と方法を示します。

2. 教職履修カルテの使い方

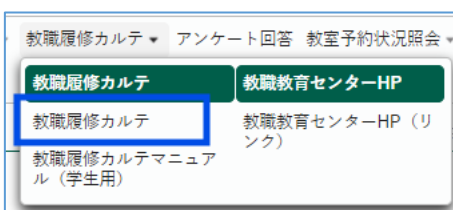
(1) システムの使い方

① ログイン

教職履修カルテは CLASS の機能の一部です。利用時は、CLASS にログインし、CLASS 上部のメニュータブ「教職履修カルテ」をクリックしてください。



その下に関連機能が表示されるので「教職履修カルテ」をクリックすると、カルテの画面に移行します。



【そのほか、注意事項など】

- 教職履修カルテは教職課程登録者のみ、在学中に限り利用可能です。
- それ以外の学生はメニューをクリックしても、利用できません。
- ただし、大学院進学者など、旧学籍時代も教職を志望していた学生については旧学籍での教職関連科目の成績も表示されます。また、大学院、専攻科、科目等履修生など、進学後も教職を志望した場合、旧学籍で登録した振り返りコメントや自己評価の値が新しい学籍に引き継がれます。

② 更新方法

教職履修カルテは、「基本情報」・「自己評価」タブで構成されています。



・入力内容を登録、修正したい

内容を更新する場合は、各タブのページ最下部にある「確定」を必ずクリックしましょう。



【そのほか、注意事項など】

- 一度「確定」をクリックすると、顔写真の上に表示される文言が「提出受付中」から「提出終了」に変わりますが、それ以降も何度でも内容の修正や登録は可能です。
- 年度をまたぐと「提出終了」から「提出受付中」に表示が変わります。



「確定」したら、「提出受付中」から「提出終了」に表示が変わりますが、その後に再度確定をしても問題ありません。

※年度をまたぐと「提出終了」から「提出受付中」に表示が戻ります。

(2) 教職履修カルテの作成（教師をめざしての自己成長）

以下については必ず登録しましょう。（すべての[項目一覧](#)はこちら）

① 基本情報

- ・ 「出身中学校・出身高校」

学校 HP に記載されている正式名称を登録してください。

| | |
|----------|--------------------|
| ▼ 出身中学校 | |
| 出身中学校名称 | ●●市立●●中学校 |
| 出身中学校所在地 | ●●県●●市●● 1 - 2 - 3 |
| ▼ 出身高校 | |
| 出身高校名称 | ●●市立●●高等学校 |
| 出身高校所在地 | ●●県●●市●● 4 - 5 - 6 |

- ・ 「取得希望資格 選択」

デフォルトでは全てにチェックが入っていますが、変更があれば適宜更新してください。

| | |
|-------------------------------------|-----------------|
| ▼ 取得希望資格 選択 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 中学校教諭一種免許状（数学） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 高等学校教諭一種免許状（数学） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 中学校教諭一種免許状（理科） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 高等学校教諭一種免許状（理科） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 他種類他教科免許 |

② 目標設定「学修や卒業後の目標」

毎年、年度はじめに今年度の目標を設定しましょう。教職への成長は毎年度の積み重ねです。目標設定と振り返りを行うことで、教職資格へのスムーズな道なりを築くことが可能です。

▼ 目標設定

| 対象年度 | 学修や卒業後の目標 |
|--------|----------------------|
| 2020年度 | <input type="text"/> |
| 2021年度 | <input type="text"/> |
| | <input type="text"/> |

③ 資格関連科目履修状況「学修の振り返り」

▼ 資格関連科目 修得状況

※上段：学修の振り返り/下段：担当教員評価コメント

| 科目 | 単位数 | 修得年度学期 | 担当教員 | 評価 | 学修の振り返り/担当教員評価コメント |
|----------|-----|----------|---|---|----------------------|
| 数学科教育論 1 | 2.0 | 2023年度前期 |  |  | <input type="text"/> |
| 数学科教育論 2 | 2.0 | 2023年度後期 |  |  | <input type="text"/> |
| 数学科指導法 1 | 2.0 | 2023年度前期 |  |  | <input type="text"/> |

「資格関連科目履修状況」は、「教職に関する科目」の履修状況を表示し、学生のコメントを入力する画面です。学期末の成績確定後に、それぞれの授業で「学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修課題および目標」について文章で記述して入力してください。これは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学修が必要なのかを自分で考える手がかりにしてもらうためのものです。

教職履修カルテは、資質能力形成のプロセスを有機的・継続的にチェックしつつ、最終的に「教職実践演習（中・高）」で確認・評価する方式です。それぞれの授業科目のシラバスには「授業の概要・目標」が示されていますので、目標となる知識技能の修得や資質能力の形成を意識して授業に臨んでください。そして、授業の履修が終わった段階で、シラバスに示されている知識技能や資質能力が身についたかどうかを自己評価してください。

④ 自己評価「必要な資質能力についての自己評価」

| 基本情報 | | 自己評価 | | | | |
|--|-----------------------------------|---|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 必要な資質能力についての自己評価 | | | | | | |
| 1: 全くそう思わない 2: そう思わない 3: どちらともいえない 4: そう思う 5: 強くそう思う | | | | | | |
| 評価分類 | 評価項目 | 指標 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
| I | I. 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 教師の職務事項（職務上・身分上の義務）について理解していますか | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| | I. 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 人権を尊重しながら子どもとかわることができますか | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| | I. 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 | 生徒のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報など、職務上知り得た秘密を守ることができますか | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| | I. 教員として求められる | 子どもに対する愛情と授業に対する熱意や使命感をもつ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

「自己評価」は、教員として求められる資質能力の総体を示したもので、それぞれの評価項目は4つの領域、すなわち以下のとおり分類されています。

1. 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
2. 社会性や対人関係能力に関する事項
3. 生徒理解や学級経営等に関する事項
4. 教科の指導力に関する事項

それぞれの領域に到達目標がありますが、その到達目標の確認指標となるのが評価項目です。

教職課程の履修を始めたその年度から、それぞれの評価項目に対して1～5の5段階で自己評価をしましょう。自己評価の高低は学業成績とは関係がありません。自己をよく見つめ、正直に誠実に、自己評価を行ってください。自己評価が低い項目は、大学として支援すべき項目として認識され、教材の開発や補完的な指導に活かされます。学部の早い段階から教員として求められる資質能力を意識することにより、教師を目指しての自己成長が促進されることが期待されています。

⑤ 教職を目指す上での課題・対策（振り返り）

▼ 教職を目指す上での課題・対策

| 対象年度 | 教職を目指す上での課題・対策 |
|---------|----------------|
| 2021年度 | |
| 2022年度 | |
| 2023年度 | |
| 2024年度 | |
| 教育実習終了時 | |

「自己評価」が1～5の5段階の数値評価なのに対し、「教職を目指す上での課題・対策」は文章で記述して評価します。「自己評価」で数値評価を行った上で、毎年度末+教育実習終了後に「教職を目指す上での課題・対策」に対する振り返りを文章で登録してください。

数値評価には表れない自己成長の課題や今後の対策を文章で記述することにより、自発的な学修を進めていくことが期待されています。また、教育実習終了後には教育実習という現場での実践を踏まえて、感じたこと、考えたことを、ありのままに記してください。

教職課程履修の折々に感じたことや考えたことを文章に残し、それを時間の経過に沿って整理・保管することで、自己成長の歩みが記録されていきます。また、皆さんの学びの軌跡を把握することで、いつ、どのような支援が必要なのかを検討し、本学の教職課程の改善につなげていくことができます。

学ぶということは、変わることです。東京理科大学で教職課程を履修することにより、「私は成長することができた」と実感できるよう、資質能力の形成に目を向けて自己形成に励みましょう。

項目一覧

【基本情報】

| 項目名 | 内容 | 入力時期 |
|----------------------|---|--------------|
| 目標設定 | 初年度～教育実習終了時までの年度ごとの目標を記入してください。 | 年度初め、教育実習終了時 |
| 出身中学校 | 出身中学校名と所在地について、入力してください。 | 教育実習開始前まで |
| 出身高校 | 出身高校名と所在地について、入力してください。 | 教育実習開始前まで |
| 取得希望資格 選択 | 取得可能な資格が表示されており、デフォルトではその全てについてチェックが入っています。 在学中、希望資格に変更が出た場合は都度変更してください。 なお、一度チェックを外した資格を後日復活させることは問題ありません。 | 変更があれば都度更新 |
| 進路希望調査 | 自身の進路希望について、変更等あれば適宜更新してください。 | 都度更新 |
| 採用試験受験状況 | 自身の記録として、採用試験受験状況を記載してください。 | 都度更新 |
| 就職活動 | TUS ナビ(キャリアタス UC)に登録したものが表示されます。 | (表示のみ) |
| 資格関連科目 修得状況 | 関連科目の修得状況を確認可能です。また、各科目について自身で振り返りを行いましょう。 担当教員からのコメントも確認可能です。 | 毎学期の成績確定後 |
| 旧学籍番号 資格関連科目 修得状況 | 学部時や過去の科目等履修生など、過去に本学に在学していた教職課程登録者については、旧学籍番号に紐づく修得状況が表示されます。旧学籍時の振り返りも登録可能です。(同一科目の成績については最新年度分のみ表示されます。) | |
| 学外活動に関する記録 | 学生支援ボランティアやインターンシップなどの課外での活動を記録してください。 | 都度更新 |

【自己評価】

| 項目名 | 内容 | 入力時期 |
|------------------|--|-------------|
| 必要な資質能力についての自己評価 | 「教職に必要な資質能力」の習得について項目ごとに自己評価を行い、年度ごとの成長を記録しましょう。 | 年度末 |
| 教職を目指す上での課題・対策 | 1年間の振り返りコメントを残し、今年度の振り返りと次年度への目標を行いましょう。 | 年度末、教育実習終了時 |

3. 教職履修カルテに関する質問

教職履修カルテに関する質問は、以下までお願いします。

【神楽坂キャンパス】

- ・教職教育センター（神楽坂キャンパス 1号館 4階）

窓口対応時間 8時30分-12時45分、13時45分-17時00分

E-mail : kyoshoku@admin.tus.ac.jp

TEL : 03-5228-8717

【野田キャンパス】

- ・創域理工学事務課

窓口対応時間 8時30分-12時45分、13時45分-17時00分

TEL : 04-7122-9142